

S1-6

健康長寿を支援する人間ドックにおける取り組み

日本赤十字社熊本健康管理センター

おくば たかふみ
奥羽 孝文、村田 啓二、緒方 康博

日本赤十字社熊本健康管理センターは、昭和53年設立以来、基本理念“ Health for All, All for Health ” 「すべての人に健康を、健康に全力を」の下に、人間ドックをはじめとする生活習慣病健診やがん検診などの健康管理事業に取り組んでいる。

当センターでは、21世紀の高齢社会に向けて、人間ドックのあり方を見直し、高齢者の健康を守る人間ドックを実現していくために、平成3年度から赤十字高齢者健康推進事業の一環としてシニアドックを開始し、その後毎年期間を限定して実施してきた。

平成22年度1日人間ドック受診者の総数は、24,069名（男性13,743名、女性10,326名）、60歳以上の受診者は5,466名（男性3,234名、女性2,232名）で、そのうちシニア福祉コース（61歳以上）は、577名（男性294名、女性283名）であった。また2日人間ドック受診者の総数は、6,542名（男性4,580名、女性1,962名）、60歳以上の受診者は3,125名（男性2,053名、女性1,072名）で、そのうちシニア福祉コース（61歳以上）は、1,331名（男性827名、女性504名）であった。

5年継続しての人間ドック受診は、60歳以上では男性1,844名（34.9%）、女性977名（29.6%）、59歳以下では男性2,935名（22.5%）、女性1,365名（15.2%）であった。

検査データを年代別に比較分析し、経年的に人間ドック受診することにより生活習慣を見直す機会としてとらえ、人間ドック受診が健康長寿にどのように関与しているかを報告する。